

キャビテック株式会社

大型薄物板金加工、
ワンストップ体制が武器納期
相談企画力
自信有試作可
小ロット

大型板金の仕事を代表する特装車両の外装

業務内
工作機械の外装カバー、
部品300点をさばく

薄板の大物板金加工を得意とする。一般的な設備より一回り大きい1500mm×3000mm対応の板金設備を備え、後工程の溶接、塗装、組立までを一貫して行う。約20社の外注先とも連携して調達した部品を、社内で組み立てて納入する。大型の工作機械カバーの場合だと、納入は4トトラック、部品点数は約300にも上る。そうした仕事をワンストップで請け負える会社は少なく、顧客には利便性が高い。

顧客数は工作機械をはじめ、産業機械メーカー、特装車両メーカーなど約30社。営業専任も4名配置し、新規開拓に力を入れている。



工作機械の外装カバー

強み
ITのノウハウ、
生産管理

設計・プログラミングのIT化で20数年の経験がある。2次元の図面で受けても、製作にかかる際はまず3次元データに加工して展開図を確認するよう徹底。図面段階でのミス発見を含め、製作作業のミスを防ぎ、リードタイム短縮に役立てている。

生産管理のシステム化にも早くから取り組み、ジャストインタイムを基軸とする自社製システムで30年来運用してきた。その経験を踏まえ、現在は顧客からの仕様変更にも柔軟対応できるように、市販パッケージを採用して刷新することを準備中。平成28年中の稼働を目指し、仕事の進ちょく、各工程の

負荷状況を一段と見える化し、効率化を図る。

独自提案
積極的に提案営業、
コストや納期短縮に貢献

顧客の図面を元に始める仕事とともに、板金加工のノウハウで提案営業にも力を入れている。一例では、アルミニウム鋳物製の印刷機械カバーを工法転換した実績がある。オイル漏れを防ぐために、顧客が従来採用していたアルミ鋳物製のカバーに対して、3次元図面で薄物板金による設計仕様を提案。結果は納期が3分の1に、大幅なコスト低減にもつながった。

溶接、塗装の板金のノウハウにより、従来と変わらぬオイル漏れの封止力、意匠性を実現したことで「顧客に喜ばれ、継続した仕事につながった」と芳村英夫社長は笑顔を見せる。

今後の展望
国内の板金で勝負

国内のもののづくりは長期的に厳しさが続くと思えるが、そこで勝ち残りを目指す方針。そのため社員の多能工化、業務のシステム化、提案営業などに磨きをかける。平成27年4月には一段の深い曲げ加工ができるブレイキプレスも導入した。国内で付加価値の高い需要に照準を合わせて、実力を高めていく。

芳村社長は2代目で、今後10年内をめどに後継を考えている。会社所有と経営を分離した仕組みを作り、3代目は社員から登用する線で検討中という。社内整備が着々と進んできたことから、「社長として将来戦略を練る余裕が出てきた」と芳村社長は語る。

COMPANY PROFILE

キャビテック株式会社

大阪
27

ISO 9001

**当社の
歴史**

制御盤の製缶板金加工業として大阪市内で創業し、大手工作機械メーカーとの取引開始を機に大型板金加工へとシフトしていきました。平成3年に社名を「協和製作所」から現社名に変更。今では主に工作機械、産業機械、特装車両の外装など、品質面で高い完成度が求められる仕事を主力としています。

大型薄物板金加工の品質には自信があります。

代表取締役社長 芳村 英夫さん



■主な事業内容
産業機械用板金部品の
製造

■主な取引先（納入先）
工作機械メーカー、産業
機械メーカー、特装車両
メーカー

住 所／〒578-0984
東大阪市菱江
1-26-25
T E L／072-962-4555
F A X／072-964-3712
創 業／昭和32年4月
設 立／昭和32年4月
資本金／3,000万円
従業員／36名

<http://www.cabitec.jp/>